



# 絆 Kizuna

学校教育目標 「自立貢献」

夢を持ち 自分で考え 判断し 行動できる生徒

HP: <http://www.ednet.tamano.okayama.jp/jhs-hibi/>

10月7日に、2年生が認知症サポーター養成講座を行います。生きるとはどういうことかしっかりと考えてほしいと思って企画しました。これとは関係ありませんが、10月1日アントニオ猪木さんが、旅立たれたことをご存じのことと思います。前日の三遊亭円楽さんに続く訃報。衝撃を受けました。お二人とも天寿を全うされたのですが、まだまだ生きて、私たちの前でいろんなシーンを見せていただきたかったです。しかし、逝ってしまわれました。

「元気ですか」

「アントニオ猪木って誰?」、そう思う生徒の皆さんもいるでしょう。私と同じ祖父母の方世代、親御さん世代にとってはスーパーヒーローです。「**元気があれば何でもできる**」の名ゼリフ。そして、テレビの中での**闘魂注入**のパフォーマンス。赤いマフラーで、いつもさっそうとされていました。私はプロレスが大好きでしたから、リング上で相手に決めた卍固め、モハメド・アリさんとの異種格闘技戦が思い出されます。「猪木ボンバイエ」の入場曲は

映像と共に記憶に残ります。人生の後半は、国会議員としても活躍されました。「自分でしかできないことを」と孤軍奮闘する様子が懐かしい。だからこそ、病床の弱弱しい猪木さんを私は見たくなかった…。しかし、彼は自分をさらけ出し、病气と最後まで闘い続ける姿を私たちに見せ、「元気出せ」とエールを送ってくれました。

「**元気ですか**」、こんな言葉を大きな声で言われたら「はっ」としますよね。その猪木語録の中で、私が一番好きだったのは、「道」。

「この道を行けばどうなるものか **危ぶむなかれ 危ぶめば道はなし 踏み出せば** その一足が道となり その一足が道となる **迷わず行けよ 行けば分かるさ**」「おいお前 **そこから一歩前に踏み出せよ**。」これも大好きな言葉です。猪木さんは他にもこんな言葉を残しています。

「**馬鹿になれ** とことん馬鹿になれ 恥をかけ とことん恥をかけ。かいてかいて恥かいて **裸になったら見えてくる。本当の自分が見えてくる**。本当の自分も笑ってた。**それくらい 馬鹿になれ**。」無骨な言葉です。でも、引きつけられ、記憶に残ります。語り始めたら切りがない。あとはネットで検索してください。あなただけの名言がきっと見つかりますよ。

世には記録に残る人、記憶に残る人がいます。今回は、猪木さんについて書き綴りましたが、毎週「笑点」を見ていたので、円楽さんについても語りたかったあ〜。しかし、今日はここまで。円楽さんのことも、ぜひ検索してください。私はよく通信や講話の中で、「**ネットで検索してみてください**。」という言葉を投稿かけます。「**情報は与えられるものでなく、自分で探すもの**。」です。そして、検索の中で、**正しい情報を自分で選択する**。これが大事なのです。私が学生だった頃は、「辞書を引く」「図書館で調べる」しか手段がありませんでした。しかし、今はネットで情報を収集することができます。便利で簡単。しかも短時間でできる。学校にタブレット端末が導入されて2年が過ぎます。**タブレットは遊びの道具でなく、学び・自分の興味・関心、自分を高めるためのものです。いい付き合い方、いい使い方をしていきましょう**。

アントニオ猪木

対

モハメドアリ戦の写真

を掲載

「デイリースポーツ」より引用

話しは変わります。ところで、みなさんは「**アントキノイノチ**」という本を知っていますか。これは、さだまさしさんの長編小説で、2009年5月19日に幻冬舎より出版されました。2011年に映画として公開もされました。簡単にしているため、伝えきれないところがありますが、ストーリーは次のようなものです。

高校時代に同級生との人間関係に傷つき、あるトラウマから心が壊れてしまった主人公の杏平。躁鬱(うつ)病に悩まされていましたが、通院治療によりようやく心の状態は安定します。遺品整理業者で働き始め、仕事のやり方を教わりながら、「命」と向き合う現場を経験していきます。しかし、ある日の作業中、杏平はトラウマとなった高校時代のことを思い出して、呆然と立ち尽くすのでした。

さだまさし

アントキノイノチ

中 略

題名の「アントキノイノチ」、実は「**あの時の命**」なのです。あの日、あの時、この瞬間。私たちはこうした時を持っています。

こうした出来事を経て、自分の心の中を吐露し、絆を深める2人。ふと、杏平が思いついて「あの時の命」って口の中で何度も言ってみてゆきに話すのです。

「あの時の命」「あの時のいのち」「あんときのいのち」「アントキノイノチ」… 「プロレスの人になった」と二人は笑い合ったのです。そして、「**元気ですかーっ!**」と、ゆきが海に向かって叫びました。自分は一人じゃない。自分のそばにはこの人がいる。

後 略

ネタ晴らししましたが、見ると「グッ」ときます。猪木さんの急逝から映画にまで脱線しましたが、猪木さんのこと、円楽さんのこと、ぜひ調べてみてください。あなたが知らないことがどんどん出てきます。「ネットってこんなときのためにある。」私はそう思っています。知りたいことを検索し、得た情報が自分の糧となる。しかし、くれぐれも使い方は間違えないように。どうぞよろしくお願いします。